

京都府損保特殊暴力対策協議会総会を開催

～京都府警等関係団体と不当不正請求根絶に向けた連携を確認～

日本損害保険協会近畿支部委員会（委員長：柿木 一宏・東京海上日動火災保険株式会社専務取締役）では、7月30日（火）京都市内で、第46回京都府損保特殊暴力対策協議会総会を開催し、来賓・顧問・会員など38名の出席がありました。

総会に先立ち行われた研修会では、京都府警察本部刑事部捜査第四課の 榎谷 宗平 主席調査官から「最近の暴力団情勢等について」と題して、最近の暴力団情勢や匿名・流動型犯罪グループの動向、カスタマーハラメントをはじめとする企業対象暴力について、直近の検挙事例も交えながら具体的な対応方法や留意点等について講話をいただきました。

総会開会に際し、当協議会の 高橋 由和 会長（東京海上日動火災保険株式会社京滋損害サービス部長）から、日頃の関係各位の支援・協力への感謝の意を表するとともに、「他の事件が多発している中、損害保険にかかわる犯罪の摘発にご尽力いただいております。こうした保険犯罪に対する強い姿勢が、保険金詐欺を企てようとする者に対して大きな抑止力となっていることに深く感謝申し上げます。」との挨拶がありました。

当協議会顧問である京都府警察本部刑事部の 井上 禎敬 捜査第四課長からは、「京都では暴力団の抗争事件は落ち着きを見せているものの、特殊詐欺の被害金額は増加傾向にあり、SNSを活用した投資詐欺など、その手口も多様化している。また、匿名・流動型犯罪グループによる犯罪や企業に対するカスタマーハラメントも社会問題化している。こういった問題に対処するためには、当協議会関係者と連携した様々な取り組みを行うことが重要と考えるので、なにかあればまずは警察等関係機関に相談してほしい。」との挨拶がありました。

また、同じく顧問で同交通部の 野々下 俊彦 交通捜査課長からは、「交通事故をめぐる保険金詐欺事件の検挙件数は減少傾向にあるものの、暴力団等の反社会的勢力による介入も多く、手口は悪質・巧妙化していることから、不正請求事案の根絶に向けて、引き続き緊密な連携をお願いしたい。」との挨拶がありました。

ご来賓である京都弁護士会 民暴・非弁取締委員会の 遠藤 賢 委員長からは、「反社会的勢力が潜在化するなかで、損保協会との勉強会等を通じて、当委員会としてできないことが常に検討を重ねている。引き続き関係者との連携を深めて暴排、非弁取り締まり活動に取り組んでいきたい。」とのご挨拶がありました。

続いて、当協議会の 渡辺 幹事（三井住友海上社）から、令和5年度の活動報告および令和6年度の活動計画の提案があり、令和6年度も情報交換および当協議会活動の活性化、弁護士会との連携強化、自動車盗難等防止対策の推進、不正不当な請求を行う特定修理業者に加え悪質なロードサービス業者等に関する情報交換・対策に取り組むことが満場一致で承認されました。

次いで、当協議会の 伊藤 幹事（AIG損保社）から、「損害保険事業の社会公共性に鑑み、警察との緊密な連携のもとにあらゆる暴力や犯罪を排除し、事業の健全な発展をはかる」旨の決議文が読み上げられ、満場一致で採択しその意思を確固たるものにしました。

最後に、中川 代表幹事（損保ジャパン社）より「引き続き、暴力団の排除と保険金犯罪・不正請求の防止に向けて、関係各位との連携のもと、的確に対策を講じ、全力を尽くして取り組んでいく」旨の挨拶で総会を終了しました。

損害保険業界では、1979年から民事介入暴力対策および不正請求対策として、警察・関係団体と連携を図り、健全な損害保険事業の運営を行うため、全国にこのような協議会を設けています。当協議会は1979年に全国に先立ち設置されています。総会の概要は次の通りです。

第46回 京都府損保特殊暴力対策協議会総会 式次第

第1部 研修会

講演 京都府警察本部刑事部 捜査第四課 主席調査官 榎谷 宗平 様

第2部 総会

1. 開会の辞
2. 会長挨拶
3. 来賓紹介
4. 役員選任
5. 顧問委嘱
6. 顧問挨拶 京都府警察本部 刑事部 捜査第四課長 井上 禎敬 様
京都府警察本部 交通部 交通捜査課長 野々下 俊彦 様
7. 来賓挨拶 京都弁護士会 民暴・非弁取締委員会 委員長 遠藤 賢 様
8. 令和5年度活動報告・令和6年度活動計画（案）
9. 決議文採択
10. 閉会の辞



会場の様子



開会挨拶をする高橋会長
(東京海上日動社)



活動報告を行う渡辺幹事
(三井住友海上社)



決議文を読み上げる伊藤幹事
(A I G損保社)



閉会挨拶をする中川代表幹事
(損保ジャパン社)



司会を行う廣門副代表幹事
(東京海上日動社)